

安全データシート

作成 2021 年 7 月 30 日

1. 製品及び会社情報

製品名	: アレルゲンアイ イムノクロマト 未加熱 牛乳 (カゼイン)
製品番号	: 20 回用 056509
	: 5 回用 054150
発売元	: プリマハム株式会社 基礎研究所
製造販売元 (連絡先)	: 株式会社つくば食品評価センター 検査試薬事業部
住所	: 茨城県土浦市中向原 635
電話番号	: 029-841-8950
メールアドレス	: Allergeneye@primaham.co.jp

2. 危険有害性の要約

重要な危険有害性及び影響	: 通常の取扱いでは、危険性は低い。
GHS 分類	: 分類できない

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物区別	: 混合物
化学名または一般名	: trade secret
成分及び含有量	: 非開示
化学特性 (化学式)	: 非開示
官報公示整理番号	: 非開示
CAS 番号	: 非開示
危険有害成分	: 特になし

4. 応急措置

吸入した場合	: 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	: 多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
目に入った場合	: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 : 異常があれば、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	: 口をすすぐこと。気分が悪い場合は、医師に連絡すること。
予想される急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	: データなし

5. 火災時の措置

消火剤	: 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	: 特になし
特有の危険有害性	: 火災によって刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	: 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火を行う者の保護	: 適切な呼吸保護具、防護服 (耐熱性) を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	: 作業者は適切な保護具 (『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照) を着用する。
環境に対する注意事項	: 環境中に放出してはならない。
二次災害の防止策	: すべての発火源を速やかに取除く (近傍での喫煙や火炎の禁止)。
回収	: 漏洩した液は、紙、布などでふき取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

局所排気・全体換気
安全取扱い注意事項

:『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
:取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
飲み込まないこと。皮膚と接触しないこと。眼に入れないこと。

接触回避

:データなし

保管上の注意事項

技術的対策
混触危険物質
保管条件

:特になし
:データなし
:日光から遮断し、1～30℃の範囲で換気の良い場所で保管すること。
可燃性物質から離しておくこと。熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から離して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）

日本産業衛生学会

:設定されていない

ACGIH

:データなし

設備対策

:特になし

保護具

手の保護具

:適切な保護手袋を着用すること。

眼の保護具

:適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

:適切な保護衣を着用すること。

衛生対策

:取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

形状

: (A)液体

色

: (A)無色透明

臭い

: (A)無臭

pH

: (A)6.8

融点

: データなし

沸点(初留点)

: データなし

引火点

: データなし

自然発火温度

: データなし

爆発範囲（上限・下限）

: データなし

密度

: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

: データなし

避けるべき条件

: 日光、熱、燃焼

混触危険物質

: データなし

危険有害な分解生成物

: 一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性

: データなし

皮膚腐食性・刺激性

: データなし

眼に対する重篤な損傷・刺激性

: データなし

呼吸器感作性または皮膚感作性

: データなし

生殖細胞変異原性

: データなし

発がん性	: データなし
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	: データなし
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	: データなし
吸引性呼吸器	: データなし

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性	: データなし
水生環境慢性有害性	: データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	: 関連法規並びに地方自治体の基準に従って、適切な処分を行うこと。

14. 輸送上の注意

国際規制	
陸上規制情報	: 非該当
海上規制情報	: 非該当
航空規制情報	: 非該当
国内規制	
陸上規制情報	: 非該当
海上規制情報	: 非該当
航空規制情報	: 非該当
特別安全対策	: 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。重量物を上積みしない。

15. 適用法令

消防法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
船舶安全法（危規則）	: 非該当
航空法	: 非該当
海洋汚染防止法	: 非該当
化学物質管理促進法（PRTR 法）	: 非該当

16. その他の情報

参考文献 引用 原料試薬供給先から提供された SDS 等

*この安全データシートは一般的な試薬の取扱いを主に記載しておりますが、危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。記載内容は通常取り扱いを前提にしたものです。本データシートは安全な取扱いのための情報を提供するものであって、いかなる保証をなすものではありません。ご使用に際しては国、地域、機関等の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先して下さい。
